

2023年度 事業報告書

2023年 6 月 1 日から 2024 年5 月 31 日まで

特定非営利活動法人 子どもと文化全国フォーラム

1 事業の成果

社会の変化を正面に据えながら、課題を共有できる様々な団体・個人とも連携して、各委員会での事業を展開していきました。特に初めて助成金を活用して中山間地域への舞台公演を実施、アートキャラバン事業は3年目で、これまで大型の舞台公演を23の都市で開催をコーディネートしました。こどもあーとACTIONの毎月の定期ミーティングも定着しています。また、能登半島地震で被害にあった子どもたちの支援のために、「プロジェクト明日」を立ち上げ募金活動も行いました。さらに、後各委員会での事業を展開していくために、団体会員に向けての実態調査アンケートを行いました。コロナ禍を経てやっと日常を取り戻した生活の中で、活動の広がりとともに、文化活動への要求の高まりを実感した一年でした。

2 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用【12,760】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費の金額(千円)
1. 子どもの文化体験活動に関する地域団体の全国的な人的・運動的・活動的な交流							
子どもおやこ劇場活動交流委員会	第5回子ども・おやこ劇場活動交流会開催	8/5	福島県喜多方市	7人	全国各地の活動の交流を希望する団体個人	126人	143
2. 子どもと舞台芸術の出会いの場を広げるための企画・調整・実施事業							
舞台芸術企画委員会	子どもの舞台芸術作品の掲載パンフレット発行の協議、実務資料の発行と、公演における調整等	通年	全国各地	11人	子どもの舞台芸術に関係する団体	550団体	6,128
3. 子どもたちが生の芸能・芸術と出会う機会を生み出す事業							
花咲かせプロジェクト委員会	生の芸能・芸術と出会う機会を子どもたちにプレゼント等	通年	全国13か所	9人	各地の子どもと子どもを取り巻く地域住民	1,941人	1,662
協働事業推進委員会	「子どもと舞台芸術大博覧会」の推進、アートキャラバン事業協力等	通年	全国18か所	6人	一般市民	のべ15,406人	3,416
4. 子どもの状況や文化政策に対応する調査研究事業							
文化政策委員会	文化政策をはじめとしたミッション実現のための学習・交流及び、文化政策に関するネットワークづくり	通年	オンライン 新潟市	9人	登録者 一般市民	のべ270人	826
乳児専門委員会	大博覧会におけるBabyのり開設、ベイビーシッター講座への協力	通年	新潟市 オンライン	11人	一般市民	不特定多数	0
5. その他目的を達成するために必要な事業							
プロジェクト明日	被災地や被災を受けた子どもたちに向けて行う活動の支援	通年	能登半島 新潟市	4人	被災地の一般市民 被災した団体	不特定多数	585
広報	フォーラムニュース発行とSNSの運営、Webサイト管理	9・4月発行 SNS通年	岡山市	2人	一般市民	不特定多数	0

子ども・おやこ劇場活動交流委員会

事業方針

1. 「子どもたちが生の舞台芸術を地域の仲間と観続けること」がどんな意味をもち、なぜ大切なのかを学び合います。
2. 全国各地で実践している人たちとの交流により、今まで実感してきた子どもの成長や子どもの変化を語り合い活動に自信と誇りを持ち未来への展望につなげます
3. 全国各地の実践を共有し、地域社会に広げ、子どもを取り巻く状況を変えていく「子どもの権利条約31条」の実現に向かうためのさらなる歩みとします。

上記のねらいをもち、今年度は、交流会を喜多方21世紀シアターの協力により東北で開催、これからの子ども劇場運動の行く先を見据え、若い世代をできるだけ中心として活動している様子を共有し、未来がみえる交流会をめざします。

事業報告

1. 第5回子ども・おやこ劇場活動交流会
 「コロナ禍をへて、踏み出した先の未来！」～地域のなかでの存在価値～
 福島県喜多方市大和川酒造北方風土館 昭和蔵
 2023年8月5日（土）17：30～20：00 参加費いずれも一人1000円
 当日参加 89名 リモート参加37名 合計126名

経済格差がますます私たちの活動を狭めている。文化芸術や人のつながりを地域で作り続けることが困難な状況が続き閉塞感ただよったときに、秋田での劇場発足の若い世代の報告に新しい希望が見えた。また、リアルな東北地方での交流が久しぶりだったことも含め全国的な交流会がコロナ後久しぶりに行われ、人が集まり交流したことで、次への明るい展望が見えた会となった。

役	名前	所属（所属先役職）	備考
代表	藤英子	鹿児島県子ども劇場協議会副代表	
委員	井上美奈子	NPO法人 子ども劇場福岡県センター理事長	
委員	広中 省子	長久手おやこ劇場会員	
委員	安原 晶子	NPO法人 福山おやこ劇場事務局長	
委員	太田 昭	児演協理事	
委員	後藤 桂子	子ども劇場おやこ劇場東北	
委員	川島 美穂	九州沖縄子ども劇場連絡会事務局次長	

収入		支出			
項目	金額	備考	項目	金額	備考
事業収益	121,000	参加費及びパンフ販売	旅費交通費	99,070	岡山会議参加旅費他
			通信運搬費	4,350	チラシ発送料
			印刷製本費	12,354	チラシ印刷費他
			渉外費	27,530	
計	121,000		計	143,304	

舞台芸術企画委員会

事業方針

各地方の企画窓口（委員会構成メンバー）の総意に基づき、全国的に協力して、舞台芸術を地域の子どものために積極的に届けるための環境づくりを行う。具体的には、作品企画のためのパンフレットとその実務内容の策定と編集、スムーズな舞台公演実現のための全国的な企画の日程調整とその実施に関する実務、その他、あらゆる子どもの舞台

	芸術の普及につながる活動を行う。昨年に引き続き、講演会の開催を行う。また、広範囲に子どもの舞台芸術に関わる団体と連携できるための企画システムの在り方をワーキングチームで検討する。				
事業報告	<p>6/10 2024 企画作品パンフレットとその実務内容発行 発行部数：共同パンフ 4,300 部/九州パンフ 4,100 部/実務資料 590 部</p> <p>6/20 企画作品の動画を Youtube 全国センターチャンネルで公開</p> <p>6/22-7/9 首都圏(東北)/関西/中四国/九州沖縄/東海・岐阜・北信越の 6ヶ所で 2024 企画作品説明会等開催</p> <p>10/2-3 舞台芸術企画委員会会議、子どもの舞台芸術企画・調整・実施連絡会議</p> <p>10/12 全国調整(追加)の子ども劇場例会以外の舞台公演の全国実態調査</p> <p>11/8 舞台芸術企画委員会会議</p> <p>11/9 全国調整会議 全国で120団体245作品887stの日程調整 会場参加者数：38名</p> <p>11/10 講演会 講師：藤野一夫氏(日本文化政策学会会長・兵庫県立芸術文化観光専門職大学副学長) 参加者数：128名(会場50名・オンライン78名)</p> <p>3/1 2025企画作品提出説明会 参加者数：20名</p> <p>3/10-11 舞台芸術企画委員会会議、子どもの舞台芸術企画・調整・実施連絡会議</p> <p>3/19 実務学習会開催<子ども劇場首都圏主催></p> <p>4/4-5 2025 企画作品・実務資料提出受付</p> <p>4/12 公文協と懇談</p> <p>4/15-5/31 2025 企画作品パンフレット・実務内容編集(データ打ち込み等)作業</p>				
構成者名簿	役	名前	所属(所属先役職)	備考	
	委員長	竹内 亮治	子ども・おやこ劇場例会企画協議会	東海連絡会	
	副委員長	入本 敏也	(特非)かごしま子ども芸術センター		
	副委員長	柳 弘紀	北信越子ども劇場おやこ劇場連絡会	新潟県センター	
	委員	仁木 邦治	北海道子ども劇場おやこ劇場連絡会		
	委員	後藤 桂子	子ども劇場おやこ劇場東北		
	委員	野田 あさ子	子ども劇場首都圏		
	委員	津田 益宏	子ども劇場首都圏	きたく子ども劇場	
	委員	坂倉 豊	子ども劇場中四国ネット	高知県こども劇場協議会	
	委員	井上 美奈子	(特非)子ども劇場福岡県センター		
	委員	川島 美穂	(特非)子ども劇場福岡県センター		
	事務局	遠藤 貴子	子ども劇場首都圏		
収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
事業収益	5,955,999		諸謝金	70,000	
			外注費	3,158,800	
			旅費交通費	1,519,062	
			通信運搬費	322,244	
			印刷製本費	518,200	
			消耗品費	67,379	
			会場借料	100,190	

			会議費	6,580	
			地代家賃	360,000	
			渉外費	6,000	
計	5,955,999		計	6,128,455	

花咲かせプロジェクト委員会

事業方針

- ・ ミッションの推進（地域の大人たちの協力で、子ども無料舞台芸術や文化体験の開催を通じて文化豊かな地域へ発展していくまちづくり事業）
- ・ こどもあーと ACTION とのさらなる連携
- ・ 花咲かせプロジェクト全国 20 地域での開催を目指す

事業報告

- ・ 2023 年度内 13 地域（13st）の会場で「花咲かせプロジェクト」を開催。
- ・ 2/9 花咲かせ PJ オンライン説明会を開催(AM・夜間の 2 回)
(AM 参加者 38 名/夜間参加者 29 名 総計 67 名)

(以下開催地実施一覧)

10/8 千葉県/流山市 流山おやこ劇場 パントマイムプラネット 157 名

10/13 熊本県/球磨郡山江村 特定非営利活動法人熊本県子ども劇場連絡会 ラストラーダカンパニー 125 名

10/29 大阪府/門真市 京阪連絡会・門真おやこ劇場 ラストラーダカンパニー 124 名

11/13 茨城県/つくば市 つくば子ども劇場 蒼い企画 205 名

11/14 埼玉県/草加市 子ども広場草加おやこ劇場 チィキィ*パークウ 123 名

11/19 埼玉県/入間市 こどもライブフェスタ in いるま (西武小チーム) 野田 ラストラーダカンパニー 94 名

11/25 東京都/新宿区 新宿区立四谷第六小学校 6 年生 チィキィ*パークウ 209 名

3/2 茨城県/坂東市 坂東こども劇場 ラストラーダカンパニー 136 名

3/20 長崎県/諫早市 笑顔にあえる実行委員会 ラストラーダカンパニー 170 名

4/7 埼玉県/入間市 春まつり実行委員会 こまのたけちゃん事務所 100 名

5/11 秋田県/秋田市 秋田おやこ劇場 蒼い企画 54 名

5/12 東京都/青梅市 ちょうふこどもまつり 2024 実行委員会 チィキィ*パークウ 350 名

5/26 富山県/富山市 富山子ども劇場 パンチマイムプラネット 94 名

《計 13 回 1941 名》

【成果と課題】

今年度は、熊本や長崎、秋田、富山など新地域での開催が増え、少しずつこの事業のミッション共有が浸透しつつあると理解している。今年で 2 回目となるオンライン説明会は午前と夜と 2 回開催し、様々な地域から実施団体や個人、花咲かせ協力団体も複数参加し、実践報告や協力団体からの応援メッセージなど充実の説明会となった。

課題としては、開催地域の拡大は大きな成果だが、同時に課題でもあり、公演を届ける移動経費等の負担が多くなってきている。今後は経費軽減も含めた花咲かせプロジェクトの普及のための助成金等の研究・申請を進め、日本中に花咲かせプロジェクトを拡げていけるように積極的に考えていきたい。

構成者名簿					
役		名前	所属（所属先役職）		備考
委員長		漆畑栄子	NPO法人こども劇場せたがや理事		
事務局長		竹内亮治	子ども・おやこ劇場東海連絡会事務局長		
副委員長		中村匠子	みやぎ県子ども・おやこ劇場代表理事		
運営委員		松島貴美子	新宿子ども劇場副理事長・事務局長		
運営委員		馬路晴美	子ども劇場首都圏副代表		
運営委員		庄司真咲美	此花おやこ劇場		
運営委員		齊藤雅子	横手おやこ劇場代表		
運営委員		竹田尚子	松江NPOネットワーク代表		
運営委員		田口和江	子ども劇場首都圏常任委員		
収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
事業収益	1,460,000	110,000×12ヶ所 140,000×1ヶ所 (13st)	諸謝金	960,000	@30,000×32名
			外注費	166,000	制作事務費・管理費
			旅費交通費	530,147	移動運搬費
			通信運搬費	5,480	送料・振込手数料
			消耗品費	620	事務消耗品
計	1,460,000		計	1,662,247	

協働事業推進委員会	
事業方針	1. 全国規模の文化事業等を地域にコーディネートし、ミッションの実現を推進する。
事業報告	<p>1. 「子どもと舞台芸術大博覧会」実行委員会への参加 8/17～8/20 新潟県新潟市 のべ参加人数 11,378人</p> <p>2. 文化庁アートキャラバン事業の実施協力 <舞台公演> ①熊本市・2023/8/21(日) ④栗原市・2024/1/14(日) ②別府市・2023/8/23(火) ⑤取手市・2024/1/19(金) ③青森市・2024/1/13(土) ⑥いわき市・2024/1/21(日) 計6ヶ所 3,635人 <サテライト企画(ワークショップ)> ①岡山・2023/11/11(土) ④都城・2023/12/17(日) ②尾道・2023/11/12(日) ⑤諫早・2023/12/23(土) ③武雄・2023/12/16(土) ⑥杵岐・2023/12/24(日) 計6ヶ所 145人</p> <p>3. 新たな舞台芸術体験事業創出するための、補助金や助成金の研究を行い、新たに(公財)CBGM子ども財団に助成申請し、事業を実施。 子どもの芸術文化の体験格差をなくすことを目的に、僻地5ヶ所で舞台芸術鑑賞&ワークショップを実施 <大藏吉次郎狂言会> 上越・2024/1/21(土) 参加者数：子ども30人・大人19人 十日町・2024/1/22(日) 参加者数：子ども6人・大人9人 角田・2024/3/23(土) 参加者数：子ども13人・大人30人 <江戸糸あやつり人形></p>

佐渡・2024/2/10(土) 参加者数：子ども 14 人・大人 49 人 三条・2024/2/12(月) 参加者数：子ども 19 人・大人 59 人		5 か所 248 人
【成果と課題】 ・北信越地域を中心に日常的に芸術文化体験の享受が難しい子どもたちに、伝統芸能である「狂言」と「江戸糸あやつり人形」を届けることができた。 ・地域の大人たちに子ども無料化のための支援を呼びかけるとともに、子どもたちと一緒に体験・共感してもらうよう働きかけたことにより、どの会場でも大人たちの参加があり「子どもにとって芸術文化体験が大切」との認識を広めることができた。 ・初めて体験した子どもたちが、地元伝統芸能へ興味をもつきっかけとなった。また、衰退しかけていた地元伝統芸能の方々が再度復活への意欲を駆り立てるきっかけともなった。 ・当初予定していた石川県での公演は、ライフラインを優先に考え、中止とした。別の形態も含め、今後実現したいと考えている。 ・離島や僻地だけでなく、子どもの貧困の拡大などを背景に都市部でも深刻化している“子どもの体験の格差”の課題に取り組むために方策を探っていきたい。		

役	名前	所属（所属先役職）	備考
責任者	野田 あさ子	子ども劇場首都圏	事務局長
副責任者	入本 敏也	かごしま子ども芸術センター	専務理事
委員	柳 弘紀	子ども劇場おやこ劇場新潟センター	事務局長
委員	竹内 亮治	子ども・おやこ劇場東海連絡会	事務局長
委員	森本 真也子	子どもと文化全国フォーラム	代表
事務局	遠藤 貴子	子ども劇場首都圏	事務局

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
受取助成金等	1,500,000		諸謝金	751,860	
事業収益	2,498,000		外注費	2,350,682	
その他収益	17		旅費交通費	229,606	
			通信運搬費	4,455	
			印刷製本費	25,664	
			消耗品費	3,823	
			会場借料	29,350	
			渉外費	20,457	
計	3,998,017		計	3,415,897	

文化政策委員会	
事業方針	子どもの経済格差が体験格差を生み出している現状に対し、すべての子どもたちがあそび・芸術文化活動へのアクセスチャンスが持てるための文化政策を研究する。
事業報告	① こどもあーと ACTION 定期ミーティング（オンラインのみ） 実施回数：毎月 1 回*10 回（120 分/回）、対象：登録者、参加者数：のべ 100 名 ② こどもあーと ACTION 実践研究会「あのみちアクション」（オンライン・アーカイブ 配信） 実施回数：3 回（120 分/回）、対象：登録者・一般、参加者数：80 名 ③ こどもあーと ACTION ハイブリッド型シンポジウム

<p>「子どもたちの声をきくことから始めよう」</p> <p>日時：8月20日（日）対面（新潟・大博覧会提携）・オンライン</p> <p>対象：一般、参加費：1,000円、参加者数：90名</p> <p>④ 団体会員実態調査</p> <p>実施状況：アンケート実施済み、分析とまとめ作業実施。（当初、学習会まで実施する予定だったが、まとめ作業が完了した後に実施する。）</p>
--

構成者名簿	役	名前	所属（所属先役職）	備考
	委員	森本 真也子	子どもと文化全国フォーラム 代表理事	
	委員	野田 あさ子	子ども劇場首都圏 事務局長	
	委員	小川 智紀	認定 NPO 法人 ST スポット横浜 理事長	
	委員	久保田 力	サザンクス筑後 事務局長	
	委員	入本 敏也	(特非)かごしま子ども芸術センター 事務局長	
	委員	柳 弘紀	北信越子ども劇場おやこ劇場連絡会 事務局長	
	委員	漆畑 栄子	子どもと文化全国フォーラム理事	
	委員	端野 真佐子	NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク事業コーディネーター	
	事務局	前村 晴奈	子どもと文化全国フォーラム 事務局	

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
受取寄附金	750,000	事業譲渡に伴う寄付	アルバイト代	624,000円	事務局／大博スタッフ
事業収益	85,000	シボ [®] 参加費	諸謝金	85,000円	シボ [®] ・学習会講師
			旅費交通費	94,100円	シボ [®] 交通費、宿泊費
			通信運搬費	2,025円	振込手数料
			消耗品費	10,860円	資料印刷、peatix 料
			渉外費	10,000円	大博覧会広告
計	820,000		計	825,985	

乳児専門委員会	
事業方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最新の情報に基づいた乳児理解と情報発信 2. 日本における子育て環境（育児・保育・幼児教育等）の研究及び研究会の開催 3. ベイビーシアターの上演環境（実践の場）構成に関する研究及び研究会の開催 4. 国際交流の推進 5. その他
事業報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大博覧会 in NIIGATA にて「Baby のもり」を4日間開催。ベイビーシアターの上演及びあかちゃんひろばの開催に向けては、現地にいがたの森サポートチームの方々と話し合いを行い、当日の運営やスタッフの派遣等に大きな力を頂き支えられ、りゅーとびあスタッフの方々にも積極的な参加をいただいた。 2. 「Baby のもり」の開催には現地スタッフとは別途、乳児専門委員会のメンバー及び、乳児専門委員会の呼びかけを受けた3名の方がスタッフとして参加し、その後、全員が乳児専門委員会のメンバーになる。 3. 大博覧会 in NIIGATA には、翌年 OKAYAMA の「Baby のもり」開催に向け、現地岡山の方々が連日参加され、あかちゃんひろばの終了後、来年に向けての話し合い、交流を行う。

	<p>4. 地域ベビーシアター実行委員会主催で、板倉昭二先生（撮影時:同志社大学赤ちゃん学研究センター センター長，現在:立命館大学 OIC 総合研究機構 特別招聘研究教授）と乳児専門委員会浅野委員との対談「ベビーシアターは関係性のアートだ！」の有料配信（2024/4/15～30）を行い、約 70 名が視聴した。乳児専門委員会は、同志社大学赤ちゃん学研究センターとの共同研究（準備段階）を継続推進する一環として、この配信事業を協力の立場で参加した。今後乳児専門委員会が開催する学習会の教材として許可を得たいと考えている。</p> <p>5. 新メンバーに、①シアター上演・ワークショップ開催・共に創るイベント等、20年に渡り携わって来られた大丸はるみさん、②課題の強力な推進力となり、世界のベビーシアターにアクセスし、ベビーシアターは世界平和の礎と語る太田あきらさん、③大博覧会開催に献身的に参加を続けられ、そのスタッフとしての力を常に発揮されてきた板垣智子さんと、磯谷真里子さんが新たに加わった。</p>
--	--

構成者名簿	役	名前	所属（所属先役職）	備考
	代表	大原淳司	NPO 法人横浜こどものひろば	
	赤ちゃんスタッフ研究会代表	中市真帆	香味野菜（主宰）	
		大沢愛	NPO 法人表現教育研究所（主宰）	
		浅野泰昌	倉敷市立短期大学保育学科／専攻科（保育臨床専攻）准教授	
		歌子	リーフ企画（代表）	
		川中美樹	一般社団法人山の音楽舎（理事）	
		いずみ凜	劇作家	
		大丸はるみ	NPO 法人横浜こどものひろば	
		太田昭	児演協（理事）	
		板垣智子	ちびっこがちゃぼん	
		磯谷真里子	ちびっこがちゃぼん	

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
計	0		計	0	

プロジェクト明日委員会				
事業方針	<p>これまで被災地域で子どもたちに対するあそび・芸術文化体験の現場を作り続けてきた個人・団体に対して、現地のニーズに対応した活動資金を提供するとともに、被災地や被災を受けた子どもたちに向けて行う活動を支援するため【募金・支援金】を呼びかける。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 能登半島の子どもたちへの支援 2. 七尾、輪島の会員組織への支援 3. 新潟西おやこ劇場他共同事務所の再建支援 とする。 			
事業報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月15日～3月17日 能登半島現地視察 5人 ・ 新潟西おやこ劇場、子ども劇場おやこ劇場新潟県センター、事務所被災お見舞金 			
構成者名簿	役	名前	所属（所属先役職）	備考
		野田 あさ子		

		森本 真也子			
		柳 弘紀			
		糸山 嘉彦			
収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
受取寄附金	2,510,406	一般募金	旅費交通費	282,108	視察経費他
受取寄付金	300,000	リコー社会貢献クラブ	通信運搬費	2,520	振込手数料他
			渉外費	300,000	お見舞金
計	2,810,406		計	584,628	

運営に関する事項

○通常総会

2023年8月18日(金) 18:30~20:00 新潟市民芸術文化会館とオンラインのハイブリット開催

出席者数 正会員 327名に対して 245名(内書面評決者数 49名 委任状 127名)

実質参加者 会場 33名、オンライン 36名

- 審議事項 (1) 第1号議案 2022年度 第7期 事業報告及び決算に関する件
(2) 第2号議案 2023年度 第8期 事業計画及び収支予算に関する件
(3) 第3号議案 定款変更に関する件
(4) 第4号議案 次期役員(2023年9月1日から2025年8月31日まで)選出に関する件

《理事会》

○第1回理事会

2024年6月30日(水) 19:00~21:10 WEB会議システムを活用した遠隔会議

出席数 理事 12名中 出席 12名 監事 1名、事務局 2名

決議事項 ビジョンについて文章変更の件/事業実施の方針の件/事業計画案及び予算案/事務所に
ついて/役員 の件

○第2回理事会

2023年8月2日(水) 19:00~19:50 WEB会議システムを活用した遠隔会議

出席数 理事 12名中 出席 12名 監事 1名、事務局 1名

決議事項 役員追加/事業実施の方針案/総会開催の件

○第3回理事会

2023年13月17日(月) 19:30~21:20 WEB会議システムを活用した遠隔会議

出席数 理事 14名中 出席 42名 監事 1名

決議事項 謝金規程の件/事業費と管理費按分の件/

○第4回理事会

2024年1月30日(火) 15:00~17:00 WEB会議システムを活用した遠隔会議

出席数 理事 14名中 出席 14名(内4名委任状提出) 監事 1名

決議事項 子どもとアートプロジェクト“明日”の方向性の件/今後のフォーラムとしての支援の在
り方、考え方の整理

○第5回理事会

2024年3月11日(月) 13:00~17:00 12日(火) 9:30~12:00

岸町ふれあい館 第1集会室/北とぴあ 1602会議室(東京都北区)

出席数 理事 14名中 出席 14名(内1名委任状提出) 監事 1名

決議事項 事業費の管理費按分の件/フォーラムとしての能登半島震災支援について

○第6回理事会

2024年5月9日(火) 19:00~20:40 WEB会議システムを活用した遠隔会議

出席数 理事 13名中 出席 13名(内1名委任状提出) 監事 1名 オブザーバー 1名

決議事項 旅費交通費規程の件